

平成28年第1回宇治田原町議会臨時会

目 次

○第2日（平成28年5月18日）

議事日程（第2号）	11
日程第1 議案第35号 宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 制定の専決処分について	13
日程第2 議案第34号 平成28年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業 勘定）補正予算（第1号）	14
日程第3 閉会中の継続調査の申し出について	15

平成28年第1回宇治田原町議会臨時会

議事日程(第2号)

平成28年5月18日

午前10時開議

日程第1 議案第35号 宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定
の専決処分について

日程第2 議案第34号 平成28年度宇治田原町国民健康保険特別会計(事業勘定)
補正予算(第1号)

日程第3 閉会中の継続調査の申し出について

1. 出席議員

議長	12番	田中修	議員
副議長	1番	稲石義一	議員
	2番	内田文夫	議員
	3番	山内実貴子	議員
	4番	安本修	議員
	6番	青山美義	議員
	7番	垣内秋弘	議員
	8番	奥村房雄	議員
	9番	原田周一	議員
	10番	上林昌三	議員
	11番	谷口重和	議員

1. 欠席議員 5番 今西久美子 議員

1. 地方自治法第121条の規定により会議事件の説明のため出席を求めるものは次のとおりである。

町	長	西谷信夫君
副町	長	田中雅和君
教	育	長 増田千秋君

総務部長	久野村 観光 君
健康福祉部長	光嶋 隆 君
建設事業部長	野田 泰生 君
教育部長	黒川 剛 君
総務課長	清水 清 君
企画財政課長	奥谷 明 君
税住民課長	長谷川 みどり 君
介護医療課長	青山 公紀 君
健康児童課長	立原 信子 君
建設環境課長	垣内 清文 君
プロジェクト推進課長	山下 仁司 君
産業観光課長	木原 浩一 君
上下水道課長	下岡 浩喜 君
会計管理者兼会計課長	馬場 浩 君
社会教育課長	岩井 直子 君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局 長	村山 和弘 君
庶務係 長	岡崎 貴子 君

開 会 午前10時00分

○議長（田中 修） 皆さん、おはようございます。

それでは、会議を始めます前に、昨日に引き続き、5番、今西久美子君より欠席の届けがあり、承諾しておりますので、このことを報告いたします。

ただいまの出席議員は11名であります。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

◎議案第35号の質疑、討論、採決

○議長（田中 修） これより、日程第1、議案第35号、宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分についてを議題といたします。

本案につきましては、既に提案理由の説明が終わっておりますので、直ちに質疑を行います。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中 修） ないようでございますので、本案に対する質疑を終わります。

これより、討論を行います。討論ございませんか。安本修君。

○4番（安本 修） ただいま議題となっております議案第35号、宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分について、反対の立場から討論を行います。

今回の改定により、昨年に引き続き5割軽減と2割軽減の対象世帯が拡充をされますが、その内容はわずかなもので、軽減適用者も数世帯ふえるだけです。さらに、最高限度額については、毎年のように引き上げられ、1世帯の限度額は89万円にも上ります。今年度は、保険税の引き上げもあり、限度額に近い階層での値上がりによる負担は大変大きなものとなります。

国民健康保険は、自営業者や農家、低賃金の非正規労働者や失業者、年金生活者などによって支えられており、国民の命を守るとりでとして、その役割が発揮されるべきものであります。しかし、政府は消費税の増税や社会保障費の削減、そして国保への国の支出の負担割合を減らし続けてきました。ここに、今の国民健康保険制度としての危機的状況の最大の原因があります。

町として、国保財政への国の負担割合をもとに戻し、引き上げるようにきちんと国に対して物申すよう求め、反対討論といたします。

○議長（田中 修） ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中 修) ないようでございますので、これで討論を終わります。

これより、本案の採決をいたしたいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(田中 修) 異議なしと認めます。

挙手により採決いたします。原案に賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○議長(田中 修) 挙手多数。よって、本案は原案どおり承認することに決定しました。

◎議案第34号の委員長報告、質疑、討論、採決

○議長(田中 修) 日程第2、議案第34号、平成28年度宇治田原町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)を議題といたします。

本案につきましては、昨日の会議で補正予算特別委員会に付託を行っておりますことから、補正予算特別委員会委員長の報告を求めます。垣内秋弘君。

○補正予算特別委員会委員長(垣内秋弘) それでは、補正予算特別委員会に付託されました議案第34号につきまして、委員長報告を申し上げます。

議案第34号、平成28年度宇治田原町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)は、審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

主な質疑といたしましては、第1期の健全化計画から第2期健全化計画の2年間分の推移をまとめているが、第1期の5年間で累積赤字が解消されなかった。また、第2期の最初の年も赤字となっているということで、第1期の反省を生かして、この第2期の2年間の総括はどのように考えているのかとの質疑があり、医療費が急激に伸びているということで、特定保健指導や生活習慣病等、いろいろな検診の実施、また、今年度、保険税の改定等させていただいたが、それでも追いつかない状況であり、地道に対処していかなければならないと思っている。第2期の計画で2年が過ぎたが、やはり医療費のほうが急激に伸びているということで、あと残り2年あるが、その中で解消していくことは難しい状況であると考えているとの答弁があったところであります。

また、国保の赤字財政については、全国的に構造的な問題と言われているが、医療費の増加についても、類似団体町村の状況を見ると、宇治田原町の1件当たりの医療費が大きいのが特徴である。そのあたりについては、医療費の分析をし、健康増進計画と整合性を持たせる中で、中長期的に対策を講じていかなければならないと思うが、どのよ

うに考えているのかとの質疑があり、1件当たりの医療費が大きいということで、今後はきちっと精査していかなければならないと思っているとの答弁があったところであります。

以上で、委員長報告を終わります。

○議長（田中 修） ただいま報告のありました議案第34号について、委員長報告に対する質疑を行います。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中 修） 質疑なしと認めます。

これより、討論を行います。討論ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中 修） 討論なしと認めます。

これより、議案第34号の採決をいたします。

本案に対する委員長の報告は可決であります。本案は委員長の報告のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（田中 修） 挙手全員。よって、議案第34号は委員長の報告のとおり可決されました。

◎閉会中の継続調査の申し出について

○議長（田中 修） 日程第3、閉会中の継続調査の申し出についてを議題といたします。

各委員長より、会議規則第75条の規定により、お手元に配付しました申出書のとおり、閉会中の継続調査の申し出があります。本件は、各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査に付することにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中 修） 異議なしと認めます。よって、本案は、各委員長から申し出のとおり、閉会中の継続調査に付することに決定しました。

お諮りいたします。以上で今臨時会に付議されました事件は全て終了いたしました。これをもって閉会いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（田中 修） 異議なしと認めます。これをもって平成28年第1回宇治田原町議会臨時会を閉会いたします。

閉 会 午前10時12分

○議長（田中 修） ここで、町長より発言を求められておりますので、これを許します。町長。

○町長（西谷信夫） それでは、臨時会の閉会に当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、平成28年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）外、計2議案につきまして、ご提案を申し上げましたところ、原案どおりご可決、ご承認をいただきまして、まことにありがとうございます。

さて、昭和31年9月30日に田原村と宇治田原村が合併し、宇治田原町が誕生してから本年で60周年を迎えます。この記念すべき年を迎え、本町のまちづくりの礎を築いてこられた先人に感謝するとともに、まさに地方の時代である現代を、住民と行政、地域と地域、人と人がきずなでつながり助け合いながら、これからの未来を描いていくことをテーマに記念事業を展開してまいりたいと考えておるところでございます。

こうした中、地域創生、自治体間競争の流れにあって、本町ではこれまでのスタンスにとらわれることなく、持続可能なまちづくりを進めるための長期的な指針と位置づける第5次まちづくり総合計画と一体的に人口減少の克服と地域創生のためのまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定してきたところであり、この計画に基づき、各施策の着実な実施に取り組んでまいりたいと考えておるところでございます。

さて、梅雨入りの時期が近づいてまいりますと、6月定例会の開会をお願いする時期を迎えることとなります。

議員各位には何かとご多忙の折ではございますが、ご出席を賜りますようよろしくお願いを申し上げます。

春から夏への季節の変わり目で、気温の差が大きな時節柄、議員各位におかれましては、お体にご自愛をいただき、ふるさと宇治田原のまちづくりのために一層のご活躍を賜りますようお願いを申し上げまして、閉会に当たりましてのお礼のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。ご苦労さまでした。

○議長（田中 修） 皆様、本日はご苦労さまでございました。

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

議 長 田 中 修

署 名 議 員 山 内 実 貴 子

署 名 議 員 奥 村 房 雄